

令和4年度 横浜市たまプラザ地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・担当地区においては、住民の転入出や高齢の親御さんを呼び寄せられるケースが多い地域です。そのため地域ケアプラザの機能や役割が周知されていないこともあり、ケアプラザの総合相談機能や地域・福祉活動の場としての役割が、より多くの地域住民に知っていただけるよう、地域福祉保健団体・関係機関と連携して周知に努めます。

・新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、地域住民とケアプラザ職員が多種多様な方法で交流の機会が持てる仕組みを構築していきます。

・高齢者人口の増加に伴い、認知症、もしくはその疑いのある相談件数が増えている状況を鑑み、認知症状や認知症の方への適切な対応について普及啓発し、認知症の方やその家族を支えることできる地域づくりを目指します。また、地域の福祉保健関係者・団体や支援機関、高齢者支援を行っている民間事業者等と共に、援助を必要とする方への支援を行い、そのために必要な支援ネットワークの構築を推進します。

・時代や社会の変化の影響で家族・親族関係にも多様性が広がり、疎遠・絶縁や身寄りのない高齢者が増加しています。そのような対象者・世帯に対し、適切な意思決定・権利擁護支援を実施していきます。

・8050問題や重大な権利侵害ケース等々の複合的多問題を抱える案件も浮き彫りになってきています。多職種・関係機関・団体と連携しながら横断的支援を実施していきます。

・健康意識の高い地域性のため、「ポジティブエイジング」の考えを広め、健康長寿に対する意識がより高まるよう介護予防活動を実践していきます。

・駅近で子育て世帯も多く在住する地域のため、気軽に立ち寄れる場所・機会を求められています。子育て支援機能強化型ケアプラザの特長を活かし、親子で参加できる場所や機会を提供していきます。

今年度の重点的な取組

新規 継続

— 具体的な取組内容 —

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 福祉出前講座のプログラムを充実強化し、地域の福祉保健関係者・団体にプログラム一覧表を配布して、講座や説明会を開催していきながら、地域ケアプラザの機能や役割を説明していきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 自治会や企業、民間事業所、福祉保健施設等にWebを活用した地域ケア会議や情報交換の場を提供して、既存の活動が維持継続していけるよう共に検討していきます。
また、地域住民が気軽に集える新たな場(地域サロン等)の構築について、住民主体の活動を支援していきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 認知症予防カフェのプログラム内容や体制を適宜精査しながら、介護者家族の集い等の事業と関連して、認知症患者とその家族を支える体制を強化します。
認知症サポーター養成講座を開催して、受講された方が認知症に対する理解が深め、地域の中でボランティアとして活動していただけるよう働きかけていきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の医療・看護・介護・福祉の関係者・機関・団体との情報共有や、個別相談の地域・相談種別等の分析を行い、地域の課題把握に努めます。
地域でお困りごとを抱える高齢者・障がい者・生活困窮者等に対し、早期発見、早期対応の体制を構築し、関係機関・団体と連携して支援していきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の子育て世帯を対象にした事業を多角的に展開していきます。乳幼児向けには「親子リトミック」や「お話し会」等、お子さんの成長に寄り添うプログラムを展開していきます。小学生向けには、過去の事業で関心の高かったワークショップを企画して、知的好奇心を喚起させるよう、講座を開催していきます。また、各事業には近隣の大学生ボランティアにも関わりを求め、多世代交流の意味合いも持たせていきます。 |

□	■	<p>昨年度から定期開催している親子のあそび場事業「スマイル♡ファミリー」については、子育て世代の方が気軽に来館し、交流や情報共有の場とします。保育士資格のもつ専任の職員を配置して、地域の子育て支援機能を強化し対応していきます。</p> <p>また、子育て拠点ネットワーク構築について、近隣の公立私立保育園と定期的なWeb会議を開催し、子育て支援の情報共有、地域連携の場づくりに寄与していきます。Web環境を活用して、親子のあそび場と各拠点(保育園)をつないで、保育士と子育て世代との交流を図っていきます。</p>
---	---	---

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

昨年度に引き続き感染症対策を徹底し、当初の計画通りの事業実施に支障が生じた場合においても、柔軟に変更・対応することで、コロナ禍でも事業開催や業務展開を図っていった。その中でも新たな取り組みも生まれ、参加者や関係者・機関から高い評価を受け、次年度へのさらなる飛躍のための展望が開けた。具体的な取組として、認知症普及啓発を目的として8月に開催した「認知症つながりシンポジウム」は、一部として認知症講座を開催するとともに、二部では青葉区在宅医療連携拠点等の各識者をパネリストとしたシンポジウムを開催。150名超のイベントとなり、参加者や関係者・機関から大変高い評価を得るに至った。また、「たまプラーザ土業ネットワーク」や青葉区全体の医療介護連携のための取り組み、ICTの活用した多職種連携ネットワーク等々、新しい挑戦やアプローチ、事業展開をすることで青葉区の地域包括ケアシステムの推進に大きく貢献した。地域ケアプラザ内の各職種・部署間の連携もより醸成されるとともに、各職員の知識・技術も昨年度より大きく向上し、個別ケースの相談援助・地域支援・ネットワーク構築においても多くの成果を収めた。

□ 区からのコメント

- ・地域のyoutubeチャンネルに出演し、ケアプラザについての説明など講演を行われています。ケアプラザのSNSだけでなく、様々な形で情報を発信されていて、多くの方が情報を得られるよう工夫されています。引き続き、地域の方々へ情報を発信をしていただければと思います。
- ・相談件数が増えている中でも、各相談に対して細やかなフォローをしていただいています。容易なことではないと思いますが、実施していただくことで対象者の安心・安全に繋がると思います。
- ・地域の情報や課題について、地域の方が理解しやすいようにグラフや事例を用いて発信、共有されています。地域の方の活動のきっかけになるよう、引き続き発信・共有を継続していただければと思います。
- ・ロコモ予防・認知症予防・栄養・口腔と、介護予防に必要な講座を展開していただきました。コロナ禍で講座人数の制限はありましたが、どの講座も好評でした。ほぼ全ての講座が定員に達し、キャンセルまちが出た講座もありました。介護予防普及強化事業に対して、地域の方のニーズや期待度が高いことが伺われました。
- ・温かい雰囲気につながりシンポジウムとなり、やはりケアプラザ単位での普及啓発の取組みは大切ですね。次年度以降の継続も期待しています。
- ・今年度は、新たな人材として、手しごとボランティアさんの養成や、ハマトレキャストさんの発掘をしていただきました。今後地域の中で活動され、活躍されることを期待します。
- ・保育園ネットワークはまだまだこれからも広がりを見せそうですね。保育園の役割が地区の人たちに理解してもらえるよう、今後も連携とサポートをお願いいたします。

令和4年度横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>○地域住民からお問合せがあった場合、その方の属性(居住地や世代等)にかかわらず、すべての方に対して丁寧かつ公平中立に対応します。</p> <p>○介護保険サービスに関する利用希望があった際、介護サービス事業者ガイドブックの内容に基づいて複数の事業所を提示します。</p> <p>○居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所等を仲介・調整する際、本人、家族には各事業所の特徴や内容、所在地等の情報を伝えた上で、本人、家族に選定していただきます。本人、家族の意向を尊重して、特定の事業所にサービス提供依頼が偏らないように公正・中立性を確保します。</p> <p>○ケアプラザ貸館については、施設利用マニュアルを遵守し、公平性をもって施設管理運営を行います。駅近の立地のため、区民の貸館利用希望が多く、利用希望が競合する場合には公開抽選をもって公正中立的に対応します。</p>	<p>○事故防止については、様々な状況を想定した対応を備えておきます。全職員が横断的に組織構成している『安全管理委員会』において、[防火・防災対策][医療・感染症対策][車両整備][事故防止・インシデント対策]の専門部会を設けて、定期的な会議を実施して、事案の検証と設備点検作業を行っています。年度末には、年間で発生した「インシデント・事故」報告内容を全職員で振り返り、同じ事案が起こらないよう全職員の意識を高めていきます。</p> <p>○個人情報保護については、「個人情報保護に関する規程」を定め、職員に遵守することを義務付けます。個人情報保護研修は年に1回必ず実施し、個人情報の取り扱い方や自主点検を行い、漏えい事故防止に努めます。個人情報を送信する場合は、個人情報部分を必ずマスキングして、誤送付誤送信しないよう、必ず複数名で確認します。</p>
実績	<p>地域住民からの相談案件については、介護保険や行政サービスのご案内を適切に行っております。地域住民の依頼に対して複数の事業者を提示し、対象者が選択できるようご案内に努めてきましたが、近年、区内の居宅介護支援事業者が減少し、区民に対し複数の居宅介護支援事業所を案内することが困難になってきており、事業所の選定に時間を要することが増えてきました。公平中立は意識しながらも、現状では居宅介護事業所の複数選択が難しいことが課題となっています。</p> <p>ケアプラザの貸館業務については、複数の団体による利用希望日時の重複があった場合は、厳正な抽選により利用団体の選定を行い、また特定の活動団体が有利に利用することのないよう、公平中立な貸館運営を行いました。</p>	<p>当ケアプラザでは全職員が横断的に構成した『安全管理委員会』を設置して、[防火・防災対策][医療・感染症対策][車両整備][事故防止・インシデント対策]の専門部会を設けております。各部会で検討協議した内容を定例会議にて報告して職員全員で共有しました。今年度も個人情報漏洩事故はなく、安全管理の意識を保っております。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>○地域包括支援センター職員や介護予防プランナーが、ご利用者に寄り添い、ご利用者が望む在宅生活が送れるよう、自立に向けた介護予防ケアマネジメントが行えるように努めていきます。</p> <p>○担当地域の居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)が、ご利用者の自立に向けた介護予防支援・ケアマネジメント業務が適切に行えるように、支援してまいります。</p> <p>○「要支援」の介護認定を受けている方が増えているため、担当地域外の居宅介護支援事業所とも連携し協働してまいります。</p> <p>○介護予防ケアマネジメントの手法について、適宜研修を開催して、ケアプラン作成担当者の個々のスキルアップに寄与してまいります。</p>	<p>○ご利用者の心身の状況やご意向に応じて、適切なサービスが利用できるようケアマネジメントを行い、望まれる在宅生活の実現を支援します。</p> <p>○併設する地域包括支援センターと連携して、地域課題を含め対応困難な事例にも積極的に取り組んでいきます。</p> <p>○他の居宅介護支援事業所と連携し、ケアマネジメントの手法について、医療・保健・介護等を包括的に捉えた研修を行い、介護支援専門員個々のスキルアップに努めます。</p> <p>○各ケアマネジャーの給付上限件数を保持し、継続した収入の安定を図ります。</p>

利用 料金 ・ 実費 負担	なし	なし
職員 体制	看護師1名 ケアマネジャー2名 社会福祉士2名 計5名(管理者1名含)	ケアマネジャー 計3名(常勤兼任1名、常勤専従2名)
契約 者数	190	121

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施 体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用 料金 ・ 実費 負担			
職員 体制			
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市たまプラザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,924,000	204,780	19,128,780	19,128,780	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	76,500	23,500	
横浜市による運営支援		314,000	314,000	314,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	60,000	0	60,000	65,568	△ 5,568	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	60,000		60,000	65,568	△ 5,568	
その他			0		0	
その他	0		0	2,130	△ 2,130	
収入合計	19,084,000	518,780	19,602,780	19,586,978	15,802	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,595,000	0	10,595,000	11,317,946	△ 722,946	
本俸	7,500,000		7,500,000	8,212,625	△ 712,625	
社会保険料	700,000		700,000	825,374	△ 125,374	
手当計	2,200,000		2,200,000	2,118,900	81,100	
健康診断費	30,000		30,000	45,397	△ 15,397	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	32,625	2,375	
退職給付引当金繰入額	80,000		80,000	83,025	△ 3,025	
その他	50,000		50,000	0	50,000	
事務費	1,342,000	0	1,342,000	980,232	361,768	
旅費	20,000		20,000	62,066	△ 42,066	交通費
消耗品費	200,000		200,000	159,999	40,001	事務用品等
会議随費	10,000		10,000	20,955	△ 10,955	会議・打ち合わせ茶菓子
印刷製本費	250,000		250,000	178,927	71,073	コピー 印刷代
通信費	350,000		350,000	282,146	67,854	電話 郵送料等
使用料及び賃借料	217,000	0	217,000	199,996	17,004	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	17,000		17,000	16,685	315	自動販売機
その他	200,000		200,000	183,311	16,689	駐輪場 フロアマット USEN AED
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	180,000		180,000	49,020	130,980	団体賠償 レクリエーション障害
職員等研修費	50,000		50,000	13,955	36,045	研修 研修交通費
振込手数料	15,000		15,000	13,168	1,832	銀行振込手数料
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費	50,000		50,000		50,000	
その他			0		0	
事業費	700,000	0	700,000	355,643	344,357	
運営協議会経費			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	700,000		700,000	355,643	344,357	
その他			0		0	
ICT整備費(追加)		189,780	189,780	189,780	0	
ICT整備費(追加)		189,780	189,780	189,780	0	
サニタリーボックス（追加）		15,000	15,000	0	15,000	
		15,000	15,000	0	15,000	
管理費	4,130,000	0	4,130,000	3,580,832	549,168	
光熱水費	1,000,000		1,000,000	491,363	508,637	
清掃費	1,200,000		1,200,000	1,209,648	△ 9,648	
機械整備費	120,000		120,000	114,708	5,292	
設備保全費	1,810,000	0	1,810,000	1,765,113	44,887	
空調衛生設備保守	1,700,000		1,700,000	1,668,480	31,520	
消防設備保守	80,000		80,000	70,563	9,437	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費	30,000		30,000	0	30,000	
その他保全費			0	26,070	△ 26,070	日常清掃
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	17,241,000	0	17,241,000	16,234,653	1,006,347	
差引	1,843,000	518,780	2,361,780	3,352,325	△ 990,545	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	76,500	23,500	
自主事業費 支出	700,000	0	700,000	355,643	344,357	
自主事業 収支	△ 600,000	0	△ 600,000	△ 279,143	△ 320,857	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	65,568	△ 5,568	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	17,000	0	17,000	16,685	315	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	43,000	0	43,000	48,883	△ 5,883	

※各大大目内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市たまプラザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,426,000		30,426,000	30,426,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,680,000		4,680,000	4,680,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	41,500	△ 41,500	
雑入	0	0	0	17,430	△ 17,430	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	17,430	△ 17,430	
その他			0	0	0	
収入合計	35,256,000	0	35,256,000	35,314,930	△ 58,930	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,935,000	0	30,935,000	29,683,677	1,251,323	
本俸	17,000,000		17,000,000	16,514,479	485,521	
社会保険料	3,950,000		3,950,000	3,660,842	289,158	
手当計	9,400,000		9,400,000	8,993,219	406,781	
健康診断費	50,000		50,000	51,887	△ 1,887	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	32,375	2,625	
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000	430,875	19,125	
その他	50,000		50,000	0	50,000	
事務費	1,215,000	0	1,215,000	1,318,974	△ 103,974	
旅費	20,000		20,000	33,225	△ 13,225	交通費
消耗品費	250,000		250,000	209,244	40,756	事務用品等
会議踏い費			0	16,848	△ 16,848	会議・打ち合わせ茶菓子
印刷製本費	200,000		200,000	220,156	△ 20,156	コピー 印刷代
通信費	500,000		500,000	479,035	20,965	電話 郵送料等
使用料及び賃借料	155,000	0	155,000	201,567	△ 46,567	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000	4,435	565	自動販売機
その他	150,000		150,000	197,132	△ 47,132	駐輪場 フロアマット USEN AED
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	45,000		45,000	79,130	△ 34,130	団体賠償 レクリエーション障害
職員等研修費	20,000		20,000	25,124	△ 5,124	研修 研修交通費
振込手数料	25,000		25,000	20,340	4,660	銀行振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	34,305	△ 34,305	10周年記念式典経費
事業費	900,000	0	900,000	529,262	370,738	
協力医	630,000		630,000	84,000	546,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	168,974	△ 118,974	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	100,000		100,000	150,000	△ 50,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000	126,288	△ 6,288	
その他			0	0	0	
管理費	1,340,000	0	1,340,000	951,866	388,134	
光熱水費	300,000		300,000	130,615	169,385	
清掃費	330,000		330,000	321,552	8,448	
機械整備費	30,000		30,000	30,492	△ 492	
設備保全費	480,000	0	480,000	469,207	10,793	
空調衛生設備保守	450,000		450,000	443,520	6,480	
消防設備保守	20,000		20,000	18,757	1,243	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	10,000		10,000	6,930	3,070	
共益費			0	0	0	
その他	200,000		200,000	0	200,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	34,516,000	0	34,516,000	32,483,779	2,032,221	
差引	740,000	0	740,000	2,831,151	△ 2,091,151	

自主事業費 収入	0	0	0	41,500	△ 41,500	
自主事業費 支出	270,000	0	270,000	445,262	△ 175,262	
自主事業 収支	△ 270,000	0	△ 270,000	△ 403,762	133,762	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	17,430	△ 17,430	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	4,435	565	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	12,995	△ 17,995	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市たまプラザ地域ケアプラザ

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	3,900,000	4,584,456	-684,456	6,550,000	8,254,019	-1,704,019	21,220,000	20,089,717	1,130,283			0			0
その他	0	0	0	0	0	0	100,000	283,493	-183,493	0	0	0	0	0	0
事業・負担金収入			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0	100,000	283,493	-183,493			0			0
収入合計(A)	3,900,000	4,584,456	-684,456	6,550,000	8,254,019	-1,704,019	21,320,000	20,373,210	946,790	0	0	0	0	0	0
支出															
人件費			0			0	21,900,000	21,283,558	616,442			0			0
事務費			0			0	1,745,000	1,892,214	-147,214			0			0
事業費			0			0	235,000	313,874	-78,874			0			0
管理費			0			0			0			0			0
その他	2,600,000		-321,150	3,750,000	5,292,646	4,000,000	350,000	3,767,991	-3,417,991	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料	2,600,000	2,921,150	-321,150	3,750,000	5,292,646	4,000,000			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0	350,000	3,767,991	-3,417,991			0			0
支出合計(B)	2,600,000	0	-321,150	3,750,000	5,292,646	4,000,000	24,230,000	27,257,637	-3,027,637	0	0	0	0	0	0
収支 (A)-(B)	1,300,000	4,584,456	-383,306	2,800,000	2,961,373	-5,704,019	-2,910,000	-6,884,427	3,974,427	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者家族の集い	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者家族を対象に、同じような介護の悩みや不安を抱えている人同士のピアカウンセリングや、日々の介護で役に立つ情報共有や交換、一時介護を離れて心身の休息(レスパイトケア)を目的として開催する。	7:その他		ミニ講和や茶話会を中心に開催。 ・会場 たまプラーザ地域ケアプラザ・美しが丘地域ケアプラザ ・年5回開催 ・美しが丘地域ケアプラザ共催	4	17
2	わたしノートサロン	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくりを講座やサロンを通じて実施する。	1:高齢者		第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくりを講座やサロンを通じて実施する。	4	81
3	「スマイル♡ファミリー」	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子の安心安全な遊び場。申込不要。子どもを安全な環境で遊ばせながら、親子でのふれあいを主眼に、地域での交流、仲間作り、居場所作り、育児不安や孤立や疑問の解消を目指す。ねんね、歯科育児相談や保育園支援のゲストがある。	4:子ども・青少年		・午前2時間、午後2時間の事前申込なしによる事業。(祝祭日も通常開催) ・保護者はマスク必須。検温の上、手指消毒を済ませて参加。定員を概ね10組。利用は1週間に1度とする。(簡易な規約を作成し感染症対策と併記) ・入室状況、スマイル内でのイベントについては随時Twitterで発信する。	198	3,566
4	健康ボイストレーニング講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	コロナ禍が続くフレイル予防のために参加を促す。正しい姿勢で呼吸法を学び、声を出すことで口腔機能の改善・向上の促進を目指す。地域のシニアの居場所づくりや交流を図る。	5:地域		ストレッチで体をほぐし、腹式呼吸を学び声の出し方を学ぶ。課題曲を毎回季節に合わせて2曲ほど実践練習として唱和する。	7	210
5	おりがみサロン	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	季節のお花を折り紙で作る。音楽や体操を苦手とする方の外出機会と居場所作りや交流を図る。作品を作り上げることで相互に刺激になり楽しみになり、励みにもなる。認知症予防カフェ「プラぶらっかつカフェ」実施の際は、壁面を飾っていただくことで華やく。	5:地域		季節のお花を折り紙で作ることを目的としたサロンを開催。 折り紙ボランティアさんと折る作品についてご提案いただき、ご相談し、折り図や折り紙はCPで用意し、参加者が読み解き、お互いに教え合い、協力しての形は変えない予定ではあるが、ソーシャルディスタンスを守るよう注意して行う。	10	191
6	おとなのぬりえ	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	経験も技術も不要、気軽に参加でき、脳への刺激効果でフレッシュや認知症予防を期待。音楽も運動も興味のない方への集いの場、居場所作り。互いにぬり絵の出来栄を見て、刺激し合うなど、交流も生まれる。	5:地域		各自好きな下絵を選び、ぬり絵をする。出来上がったものは額に入れて鑑賞し合うなど交流しながら、思い思いに、ゆったりとした活動を目指す。講師が休憩中ミニ講義を行う。	10	190
7	たまぶらっこ(ベビーマッサージ、ねんね講座)	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0~1歳児親子の講座・交流・相談とする。 ・美しが丘や山内の子育てNW会議にて「気軽に相談できる場が欲しい」「大人の女性と話したい」という要望が多かったため、相談機能のある親子の講座で学び交流相談とする。	4:子ども・青少年		・親子参加 ・0~1歳児未満はベビーマッサージ講座 ・1歳~3歳児未満はねんね講座 ・講座(40分)+フリー(質疑応答や交流など30分) 質疑応答は1対1で順番に質問をする時間を設ける。 みんなの前では質問はなかなか出ない傾向がある。 (申込時に相談内容を予め聞いておく) ・親が安心するため、1歳児の時には、子どもにはおもちゃを出しておく。(スマイル♡ファミリーのおもちゃ使用)	10	187
8	親子で楽しむおはなし会〜わらべうたであかちゃんとお遊ぼう〜	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の母親と子どもの居場所づくりと交流・仲間づくり、親子のスキップの機会を作る。また、親子でのわらべうたや絵本との出会いを創出し、情緒を深める。	4:子ども・青少年		「スマイル♡ファミリー」にてボランティアとして活動していた「おはなしあんどころもち」による絵本の読み聞かせを中心に、親子で触れ合うわらべ歌や絵本にちなんだ工作、パネルシアター、紙芝居等を取り入れたお話し会。 ・おはなし会の後はフリータイムとし、気軽に子育てや絵本のことなど相談したり、参加者親子と講師たちや参加者同士の交流する機会を設ける。 ・単発で回数を多く行い、いろいろな親子が参加できるようにする。 ・自宅でもわらべうたなど歌ったり紹介された絵本を借りたり買ったりできるように、レジュメなどをまとめて、各回配布し、ミニ講座を行う。	8	188

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
9	たまブラ子育てツアー	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・転入早々で土地勘もない母親に子育て支援拠点や公園を回ることで、地域を知り、安心して暮らすことができるきっかけとなる。 ・子どもの居場所づくりと交流・仲間づくりの機会を作る。 ・子育て中の親子と一緒に街を歩くことによって、仲間が増え、地域の魅力を知ることによって愛着を持って子育てできる環境を作る。 ・スマイルファミリー(親子の遊び場)スタッフとの交流を通じて、CPの周知を図ることで、親子の居場所づくりとなる。	4:子ども・青少年		・たまブラザCPぶらざらぎの一むに集合し、たまブラザエリアの簡単な説明と子育て支援拠点のぶらぶらしえすた、コニワ、美しが丘公園、美しが丘保育園園庭開放に回る。	2	37
10	二人目ママのトークサロン@美しが丘子育てひろば	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しが丘子育てエリア会議でテーマに上がり、ニーズの高い、二人目以降が生まれた後の育児について気軽に語り合う会。一人目と違い、公的な集まりがない中、育児の悩みを抱えがちなママ達への孤立防止	4:子ども・青少年		二人目、三人目が生まれた中での育児の工夫等話し合い、情報交換する場。美しが丘民児協の協力の下、「子育てひろば」内で行う。	2	30
11	手作り楽器でフィアホールで演奏しよう	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの小学生の居場所づくり、小学生の夏休みの課題に対応する内容の事業も含む。 あおばおもちゃのひろばの協力の下、行う。 近隣小学校幼稚園などへ案内。	4:子ども・青少年		ワークショップにてタイコづくりを行い、作った太鼓を持参しフィアホールにて演奏。	1	35
12	おやこでリズム	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽に合わせて身体を動かし、ケアブラザで安心して親子で楽しく過ごすようにしてもらい、閉じこもり予防、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。	4:子ども・青少年		今年度は毎回募集とし、抽選制。定員7組を入替制で2回行い、1日に14組の参加を予定。	14	352
13	環境中のマイクロプラスチック	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・近隣の小学生親子にケアブラザを周知する機会づくり ・SDGsの目指す持続可能な社会の実現を目指すために、世界共通の目標に向かって取り組みを進めることを意識し、プラスチックごみが環境にどう及ぼしているかを考える。 ・環境中のマイクロプラスチックやプラスチックゴミ問題について知識を持ち、環境汚染を防ぐために、私たちに何ができるかを考える。 ・SDGs関連目標の、⑩「作る責任使う責任」⑭「海の豊かさを守る」の2つのゴールとして掲げる。 ・講義担当は、横浜市環境創造局環境科学研究所の協力。	4:子ども・青少年		・2022年度SDGsプログラム第一弾(第二弾は翌日7月30日開催「生分解性プラスチックを作ろう」) ・講義:30分 マイクロプラスチックごみについて(マイクロプラスチックやプラスチックごみ問題についての説明、世界の動向や横浜の状況を知る。また環境問題についてわたしたちに何ができるかを考える) ・実習:15分 マイクロプラスチックの観察(研究所でのマイクロプラスチック調査の模擬体験を実施) 実際の野島海岸の砂からマイクロプラスチックを各自ピンセットで探し、観察記録を行う。 ・総括:実習を通じ、マイクロプラスチックとその調査方法について理解を深める。	1	30
14	生分解性プラスチックを作ろう	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・近隣の小学生親子にケアブラザを周知する機会づくり ・SDGsの目指す持続可能な社会の実現を目指すために、世界共通の目標に向かって取り組みを進めることを意識し、小学生でも身近でできることを親子で体験する。 ("13:気候変動に具体的な対策を"が目標) ・家庭や工場から出るゴミが、環境破壊の一因になっている。そのため、埋めると土にもどるプラスチックの必要性が高まっている。この実験では、そのプラスチックを牛乳から作る。 ・三菱ケミカルホールディングス(鴨志田)の地域連携企画。	4:子ども・青少年		・生分解性プラスチックの紙芝居(ミニ講義) ・牛乳プラスチックを作る化学実験講座(牛乳とレモン汁混ぜる⇒濾す⇒電子レンジを使って温めて凝固させる) ・持ち帰り、土中に埋め、土に戻るか実験するよう促す。	1	32
15	バルーンロケットを飛ばそう	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生親子にケアブラザを周知する機会づくり。 知的好奇心を喚起させ、親子同士の交流の場を作る。 昨年度開催したが好評につき今年度も開催。	4:子ども・青少年		・地域の小学生の夏休み企画。 ・宇宙についての講義を聞き、ビニール製のバルーンロケットを作成し、どのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤することで、知的好奇心を伸ばす。 ・近隣の小学生親子にケアブラザを周知する機会とする。	1	28
16	あかちゃんママのためのピアノコンサート	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・子育て期にゆったりとした雰囲気、音楽の生演奏や楽しいトークを聞きながらゆっくりリラックスできる時間とする。	4:子ども・青少年		講師は地域で自宅コンサートやカフェでコンサートを開催し、ライブ経験豊富なヨガインストラクターや英会話講師の資格保有者でもある谷崎さんに、海外子育て経験のお話も入れて、ヨガなどの軽い呼吸法なども取り入れつつライブでのコンサート6曲ほど演奏したり歌っていたり。 ・参加者親子で身体を少し動かしたり、リラックスしたりする時間を持っていたり。	1	17
17	たまブラザ駅見学ツアー	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小中学生親子に、地元たまブラザ駅を中心とした地域の歴史や街づくりを周知する機会づくり。	4:子ども・青少年		・地域の小学生の地元地域を知る企画。 ・地域・近隣の小学生親子にケアブラザを周知する機会とする。	1	23

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	どうようスマイル	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザで安心して親子で楽しく活動したり、情報交換など親同士の交流できる居場所とする。地域と繋がりを、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。就労していても、地域で仲間作りをしていただくことを目的とする。	4: 子ども・青少年		親子でふれあい遊びをしたり、季節のリミックや工作などで楽しむ。親子で遊ぶことで、家族で交流を図る。年に数回行う。	3	59
19	はじめて出会う絵本	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	・どんな絵本を読んでいいかわからず紹介して欲しいという声が多く、また子どもにとって安心できる、世界を信頼することが出来たり想像力を掻き立てたて、えりすぐりの親子で出会う「はじめての絵本」を紹介する時間とする。 ・子どもたちが優れた絵本と出会うことは、人への信頼や愛情、生きる力を育み、人生が豊かなものになることにつながる。	4: 子ども・青少年		山内図書館勤務、家庭文庫主催(おし沼子ども文庫主催)、宮前区図書ボランティアの会など子どもの絵本の事業に長く携わっている秋元氏を迎える。 ・子どもが世界を信頼して生き抜いていけるような力を持つ、絵本ストーリーもえりすぐりの絵本を紹介する。 ・本は平置きにして絵のすばらしさを見て手に取れるようにする。 ・30分程度お話しし、後は絵本を手にとったり、講師や参加者同士の交流タイムとする	3	68
20	親子で遊ぼう〜リズム体操とクラフト〜	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	親子で身体を使ったリズム遊びやクラフト工作を通して、ケアプラザでの親子どうしの交流を図る。 ・日頃兄弟参加できる事業はないため、夏休みに家族で気軽に楽しめる場を提供する。	4: 子ども・青少年		親子でリズム遊びと間伐材を使用した輪切りのキーホルダーに色付けする。	1	14
21	ぶらぶらとカフェ	平成26年度	7: 共催 (1と2と3)	2: 発展させるねらい	自粛生活を経て、気力・体力共に低下している高齢者が「ケアプラザに集う」という外出機会の創設。また、懐かしい映像を見知った顔と一緒に楽しむことで、刺激もあり回想法としても効果を見込む。	1: 高齢者		・定員制を設けるため、入替制で2回開催する。 ・お誕生日の方の紹介、大きな声を出さないバタカ体操 ・昭和のドラマや映画を30分ほど上映(複数回に分けての上映も検討) ・ゆったりハマトレ(体操にならない程度) ・多種の2ℓペットボトルを用意し、紙コップによるフリードリンク ・調理室も定員まで使用し、随時スタッフが使用することでホールの定員確保 ・向かい合わせを避け、横並びでの着席開催 ・100円の参加費で、フリードリンクとお土産のお菓子付とする(持ち帰り専用)	12	451
22	出張何でも相談所	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	ケアプラザ外で活動することにより未利用者への周知と「気軽に相談できる場所」の確立を目指す。 また相談所の機能と併せて地域で活動している団体の活動を紹介することによって、地域と団体をつなぐ役割を果たすことを目的とする。	7: その他	1.4	・毎月第4水曜日、13:00～15:00にたまプラーザドレッセンス内コミュニティコアにて開催 ・ケアプラザ及び包括支援センターの役割の紹介 ・地域活動団体の紹介 ・ゆったりハマトレ ・健康チェックなんでも相談	12	50
23	手しごとボランティア養成講座	令和4年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	ケアプラザ及び地域でのカフェやサロンで、参加者と共に活動するボランティアの育成を目指す。 カフェやサロンに「手しごと」というツールを導入することで、既存の仲間に馴染めず居場所作りが困難な参加者の定着化を目指す。	5: 地域		ボランティアとして地域活動に参加する地域住民の為の講座。簡単な手しごとを学ぶと共に、青葉区の現状や地域参加、ボランティアの重要性と共に地域でボランティア活動を始めるにあたっての必要な情報も講座に組み込む。	6	80
24	みんなで歌おう!	令和4年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	正しい発声で声を出す、季節の歌や懐かしい曲を歌うことで口腔機能の維持や、介護予防を目的とする。 ・2019年度に新石川地区の開拓として「健康うた広場」を開催したが、新型コロナウイルス感染症が長期化したため、地域及び住民の状況も一変してしまつた。再度周辺の高齢者に焦点を当て、地域の居場所作りの再構築を目的とする。	1: 高齢者		・声が出やすくなるウォーミングアップと発声 ・季節の歌、童謡、参加者になじみの深い歌謡曲の歌唱	4	40
25	てんとうむしサロン	令和4年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	地域の高齢者の通いの場、交流の場を目的とする。神奈川県転倒予防医学研究会主催の「転倒予防体操」と共に「てんとうむしの会」として開催。	1: 高齢者		転倒予防トレーナーによるミニコーナーや懐かしい歌、おりがみなど、月替わりのレクリエーションや参加者での語らいの時間などを設ける。	10	63
26	ほっこりなごみサロン	令和4年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者や住民が、集い、交流をする場として実施。ボランティアにも協力してもらふことで、将来的な地域の人材発掘、育成にも繋げていくことを目的とする。	1: 高齢者		画一的なプログラム内容は設けず、手芸やオセロ等の遊び、運動、体操、脳トレ等々、さまざまなメニューを用意し、参加者は自由に過ごすことができる。	11	39

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
27	認知症つながりシンポジウム	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	青葉区役所からの依頼を受けて、区内地域ケアプラザで9月世界アルツハイマー月間に向けた取り組みを持つことになった。当ケアプラザでは、①シンポジウムの開催 ②認知症カフェにおけるメッセージカードの製作 ③認知症サポーター養成講座 等に取り組み、地域において認知症への理解促進を図る。本事業は①について。	5:地域		①『たまブラーザ地域ケアプラザ主催 認知症つながりシンポジウム』 ところたまブラーザ テラス ゲートプラザ2階 プラザホール 定員 150人 参加費 無料 参加申し込み不要 当日 <第1部>:基調講演(50分) 横浜総合病院 横浜市認知症疾患医療センター センター長 長田 乾 氏 <第2部>:シンポジウム(30分) 進行:長田 乾 氏 シンポジスト: ほっと青葉 代表 梅原 由美子 氏 株式会社ゆい 施設部門 統括管理者 富田 克利 氏 一般社団法人 横浜市青葉区医師会 看護師・介護支援専門員 藤田 和枝 氏 インフォメーション 横浜総合病院 医療相談室 精神保健福祉士 山田 亮介 氏	1	150
28	乳幼児救急法を学ぼう	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・家庭内や地域で発生する事故に関する救護法を短期講習で学び、子育て世代が安心して生活することを目的に開催する。 ・乳幼児の安全、減災を主眼とする。 ・開催は土曜日に行い、両親の参加を取り込み、親子間の交流を促す。 ・地域の管轄の消防署員に直接指導を受けることで、地域連携のきっかけとする。	4:子ども・青少年		・日常生活での危険・事故時の心肺蘇生法を大人と子どものダミー人形を使って行う。 ・AEDや誤飲を中心に応急対処できる知識とスキルを学ぶ。	1	39
29	中高生ママのためのマネーライフプランセミナー	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・男女共同参画センター(アートフォーラムあざみ野)共催。 子育て世代の女性のためのセミナー。 ・社会情勢も不安定な状況が続き、値上げが続き、一層生活が厳しくなってきた。今後の人生に向けて、こどもの教育費や老後の資金はどのくらい実際に必要なか？漠然とした不安を抱える人は多い。充足した人生を送るために今からどのように過ごせば良いのかを、考える機会とする。 ・40代50代に向けて地域包括支援センターとしてのたまブラーザ地域ケアプラザの周知の機会とする。	7:その他		・将来に向けて今から出来ることを、将来の生活資金や年金のイメージや家計のイメージなど具体的に今からライフ&マネープランを考える講義。	1	19
30	たまブラ探訪 たまブラーザテラス見学ツアー	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域市民のための地元たまブラーザ駅を中心とした地域の歴史や街づくりを周知する機会づくり。東急株式会社協力による地域連携。	5:地域		地域市民の地元地域の裏側(設計や歴史)を、実際の当時の担当者から知る。 ・多世代交流を目的に見学を通じて、地域の幅広い世代との交流を図る。 ・ミニ講義とテラス見学。(快適さはどこから?など色々な角度からテラスを見て考えてみる)	1	33
31	クラフトワークと洗濯ばさみ自動車工作	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	目的:親子でクラフト工作を通して、ケアプラザでの親子どうしの交流を図る。 ・保育園幼稚園に入園してからも参加できる事業が少ないということもあって、より継続して親しまれる施設を目指し開催する。 ・横浜市の事業として「森の楽しみ作り(市民が森に関わるきっかけづくり事業)」として、クラフト教室(間伐材を使用したキーホルダーづくり)を行う。 ・II あおばHEYアート倶楽部の福祉保健活動とする	4:子ども・青少年		親子で工作や間伐材を使用した輪切りのキーホルダーに色付けする。	1	35
32	ミュージックキャラバン秋のコンサート	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	國學院大學との地域連携事業。 (人間開発学部高山ゼミと学生音楽サークル「ミュージックキャラバン」) ・地域の方に、気軽に安心してケアプラザで音楽を楽しんでいた機会とする。 ・コロナ禍が長く続き、家に閉じこもってストレスを抱えている地域市民などに、地域内で共に音楽を安心して楽しんでいたことで、心のリフレッシュ効果や外出を促す。 ・安全に安心して地域ケアプラザを利用して頂くきっかけとする。 ・地域の方に國學院大學による音楽を楽しんでいただくなど、ケアプラザを介して、学生と地域市民との相互交流を図る。	5:地域		國學院大學人間開発学部高山ゼミと学生音楽サークル「ミュージックキャラバン」によるコンサート ・曲は30分程度+アンコールでMC込みで40分以内。 ・①②と曲を変えてアレンジ。(パプリカ、じじ、夢をかなえてドラえもん、さんぽなど) ・こどもたちが喜ぶ手遊び唄やみんなのよく知っている曲を演奏。 ・楽曲は短く2~3分程度のもをメドレーで繋いでいくことで、展開。 ・当日は4人で演奏。楽器(ピアノ・フルートなど)。 ・MCは短めに、テンポよく音楽を繋ぎ中身を濃くする。	1	120

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
33	ペンシルロケットを作ろう	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生親子にケアプラザを周知する機会づくり ・昨年度来、参加者親子共に大変な反響があり今後も継続し、開催を要望が強く寄せられての開催。 ・夏期7/31(土)開催の折に、申込が多く、抽選に漏れた方も多かったことから、同様の開催を年度内に行う。	4：子ども・青少年		地域の小学生の冬休み企画。 ・宇宙についての講義を聞き、ペンシルロケットを作成し、どのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤し、親子で考えながら実験することで、学ぶ面白さを実感し、知的好奇心を喚起させる。 ・近隣の小学生親子にケアプラザを周知する機会とする。	1	34
34	空力翼艇を作ろう	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生親子にケアプラザを周知する機会づくり ・昨年度来、参加者親子共に大変な反響があり今後も継続し、開催を要望が強く寄せられての開催。 ・夏期7/31(土)開催の折に、申込が多く、抽選に漏れた方も多かったことから、同様の開催を年度内に行う。	4：子ども・青少年		地域の小学生の春休み企画。 ・「飛行機はなぜ飛ぶか？」という講義を聞き、空力翼艇を作成し、どのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤し、親子で考えながら実験することで、学ぶ面白さを実感し、知的好奇心を喚起させる。 ・地域の中高生と親子との交流促進。	1	37
35	ロボットプログラミング	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の小学生親子にケアプラザを周知する機会づくり。 ケアプラザで、知的好奇心を喚起させ、親子同士の交流の場を作る。 小学生の思考力を鍛え、できた楽しいという気持ちを萌芽させる機会を地域で作る。	4：子ども・青少年		・地域の小学生の冬企画。 ・ロボットプログラムの講義を聞き、アームでペットボトルを挟んで、プログラム通り目的地まで運ぶことに挑戦する。	1	30
36	國學院大學教材研究サークルたんぽぽによる冬の親子のおはなし会	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・國學院大學との地域育児支援連携事業 ・参加学生と地域の親子との交流 ・参加学生や親子にも地域の一人であることを自覚する機会とする。	4：子ども・青少年		・教材研究サークル1年～4年6人参加 ・日頃の実習や地域イベントを通して、反響のあった、手作り絵本やペープサート、リズム体操などを行う。	1	56
37	はじめて絵手紙	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	経験も技術も不要、気軽に参加でき、脳への刺激効果でリフレッシュや認知症予防を期待。音楽も運動も興味のない方への集いの場、居場所作り。 互いにぬり絵の出来栄を見て、刺激し合うなど、交流も生まれる。	5：地域		講師のミニ講演や指導のもとで、参加者で初めて絵手紙を製作する。色付けや書き方、絵具や筆の使い方など講師のアドバイスの下、行う。出来上がったものはそれぞれ鑑賞し合うなど交流する。地域のコミュニケーションづくりを目指す。	1	17
38	親子のおこづかい講座	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・小学生親子にケアプラザを周知し利用していただく機会づくり。 ・お小遣いについての考え方を親子やまたは参加者親子どうして考え、やり取りし、交流の場を作る。 ・アラフィフ女性や中高生母親対象のマネー講座を実施したところ、親子で考える機会を作ってほしいと要望が多く寄せられたため、今回初めての企画となる。	4：子ども・青少年	3	地域の小学生親子の企画。 ・お小遣いやお金について親子で考えながら交流しつつ、お金に意識させ、お金の対する感覚の醸成も目指す。 ・近隣の小学生親子にケアプラザを周知する機会とする。 ・おみやげにお小遣い帳付。	1	16
39	たまぶら探訪あざみ野街巡り	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域市民のための地元たまぶらエリアを中心とした地域の歴史や街づくりを周知する機会づくり。タウンガイド青葉講師協力による。	5：地域		・地域市民の地元地域の歴史を、市民講師に学び、ともに歩くことで交流を図る。 ・多世代交流を目的に散策を通じて、地域の幅広い世代との交流を図る。 ・地域の魅力を知ることで、より地元への愛着を図る。	1	39
40	みんなで脳活レク!	平成26年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	山内地区を中心とした近隣地域の高齢者を対象とした認知症予防や介護予防、健康促進、閉じこもり予防、地域交流に加え、地域包括支援センターの機能・役割等を周知することを目的として開催。	1：高齢者		・年1回・会場 山内地区センター ・大場地域ケアプラザ、美しが丘地域ケアプラザ、山内地区センター共催 レクリエーションや脳トレ、コグニサイズの他、包括支援センターの機能説明などを行う	1	24

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
41	子どものおもちゃをつくってみよう	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・発達心配のあるお子さんをお持ちの親子でも楽しく遊べる場「あおばおもちゃのひろば」の周知として、たまプラーザ地域の親子のフリータイムとして開催する。 ・療育センターでも好評のこどものおもちゃを、子を遊ばせながら作るWSを実施することで、子育ての視点を変えた、関わり合いの変化を生み出す。 ・発達心配、障害のあるお子さんの家族が、コロナ下でも安心して相談できる場として、おもちゃをツールとして育児不安を和らげ、ストレス軽減を図る。 ・引きこもりがちの障がい児の家族が外にできかけとなるよう、地域の既存の活動団体や活動されている方が関わるきかけづくり。 ・地域に発達心配な親子の楽しく遊べる「おもちゃのひろば」の存在が周知されることで、安心して来館し、身近な場所で相談できることが期待される。 	4：子ども・青少年	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「あおばおもちゃのひろば」の出張による、発達心配のあるお子さん・障害のあるお子さんやそのご家族・集団が苦手なお子さんやご家族が安心して過ごせるよう、またふれあいあおばでの情報発信。 ・子を遊ばせながら、3回に分けてWSを実施。 	1	55
42	クリスマスコンサート	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て世代に、気軽に安心してケアプラザで音楽を楽しんでいただく。 ・コロナ禍が長く続き、家に閉じこもってストレスを抱えている親子に、地域内で音楽を楽しんでいただくことで、心のリフレッシュ効果や外出を促す。 ・安全に安心して地域ケアプラザを利用して頂くきっかけとする。 	5：地域		<ul style="list-style-type: none"> 「おもてなし隊」(ボーカル・ヴァイオリン、ピアノをはじめとした、音大卒業生によるパフォーマンスグループ)による親子コンサート ・曲は30分程度+アンコールでMC込みで45分以内。 ・①②と曲を変えてアレンジ。(パブリカ、にじ、夢をかなくてドラえもん、さんぽなど) ・こどもたちが喜ぶ手遊び唄やみんなのよく知っている曲を演奏。 ・楽曲は短く2～3分程度のもをメドレーで繋いでいくことで、展開。 ・当日は4人で演奏。楽器(ピアノ・カホン・バイオリン)。 ・MCは短めに、テンポよく音楽を繋ぎ中身を濃くする。 ・こどもと体を揺らしたりできる曲を。(①は赤ちゃんを膝に乗せて一緒に揺らすなど) 	1	135
43	保育園入園前の心配事相談	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 今春就労復帰し、保育園入園を控えた保護者の心配事相談、不安受容、解消。 ・保護者同士の情報共有、意見交換、交流。 ・保育園どうしの地域子育て支援連携や、地域の親子への連携への周知。 	4：子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> 親子の遊び場「スマイル♡ファミリー」にて、今春就労復帰する保護者より不安などのお気持ちを聞き、地域育児支援のためプラーザもみじ保育園園長福田先生より地域育児支援として開催いただくことになった。 【子育て講話と質疑応答と情報共有と保護者同士の交流】 ・参加者自己紹介、講演・相談(座談会風に先生を囲む) ・たまプラー保育園ネットワーク会議地域子育て支援連携(たまプラーザもみじ、青葉フレール、小桜愛児園、たまプラーザぼんた) 	1	24
44	あおばおもちゃのひろば	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・発達心配のあるお子さんをお持ちの親子でも楽しく遊べる場「あおばおもちゃのひろば」の周知として、たまプラーザ地域の親子のフリータイムとして開催する。 ・療育センターでも好評のこどものおもちゃを、子を遊ばせながら作るWSを実施することで、子育ての視点を変えた、関わり合いの変化を生み出す。 ・発達心配、障害のあるお子さんの家族が、コロナ下でも安心して相談できる場として、おもちゃをツールとして育児不安を和らげ、ストレス軽減を図る。 ・引きこもりがちの障がい児の家族が外にできかけとなるよう、地域の学生や障がいの登録団体や活動されている方やボランティア参加が関わるきかけづくり。 ・対象を限定せず、障がいや遊び場の誰でも同じ場で遊び交流する機会づくり。 ・地域に発達心配な親子の楽しく遊べる「おもちゃのひろば」の存在が周知されることで、安心して来館し、身近な場所で相談できることが期待される。 	4：子ども・青少年	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「あおばおもちゃのひろば」の出張による、発達心配のあるお子さん・障害のあるお子さんやご家族が安心して過ごせるよう、また「ふれあいあおば」での情報発信。 ・子を遊ばせながら、(預からない)3回に分けてワークショップを実施。 ・シャンシャンフラワーづくり：①10:00～11:00②11:30～12:30③13:30～14:30各7組申込先着順 ・「スマイル♡ファミリー」参加者でも発達心配のあるお子さんみいるので、場の提供も回る。 ・ひろば開催：10:00～15:00 休憩12:30～13:30 	1	140

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
45	わたしノート講座	令和4年土	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくりを講座やサロンを通じて実施する。	1:高齢者		前半は高齢者の権利擁護に精通した弁護士による「遺言・家族講座」を実施。後半は、弁護士、終末期医療に精通した看護師、親族後見人をパネリストとしたシンポジウム形式で、意思決定支援をテーマに開催。	1	36
46	たまプラーザ地域ケアプラザワークショップ	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の全世代を対象に、体験型イベントに参加していただき、参加者同士の交流とケアプラザについて身近に触れていたが、その機能と役割を知っていたく機会とする。	5:地域		福祉・健康・文化・こどもの分野に分かれて、体験型のイベントブースを提供する。感染症対策の一環として、事前予約時間割定員制にして、円滑な運営を目指す。⇒令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、開催しなかった。	0	0